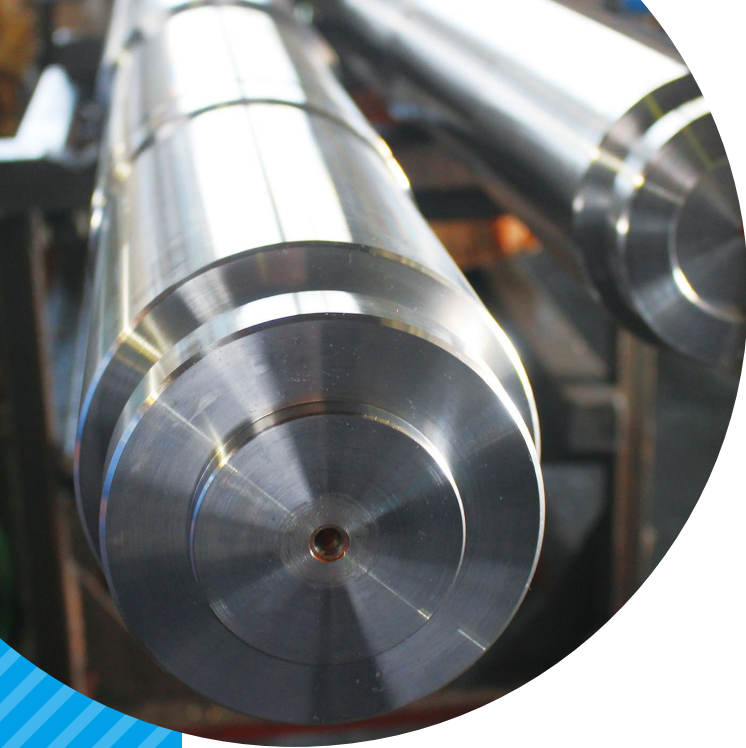




事業計画名

独自技術を生かした 長尺物旋削加工への取り組み

企業紹介

昭和47年に先代社長の吉川勇氏が鉄工所として事業開始。昭和63年に(有)アイケー・産業システムとして法人化。

【アイケー：創業者(イサム キッカワ)のイニシャル】

主に産業設備の設計からメンテナンスまで幅広く手がけ、平成21年現社長に就任後に市場のニーズの変化に対応すべく、より専門的な技術に特化した、「旋盤加工専門」の企業として新たな分野を切り開いている。

事業の取組内容

○事業計画の概要

弊社では、シャフトを旋盤加工の際、従来加工熱変形による「振れ」の発生が問題であったが、長さ2,700ミリ以下のシャフトにおいて「振れを極少しか出さない旋盤加工技術」の開発に成功した。しかし、県内外業者等から2,700～3,700ミリ以下の長尺シャフト加工のニーズに対応できなかったため、長尺対応用旋盤を導入するものである。

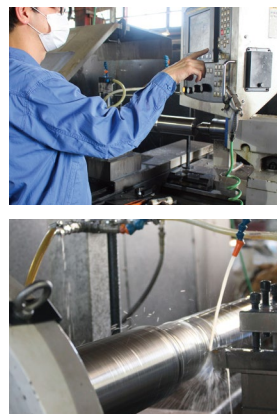
○導入設備

設備：長尺物対応旋盤

活用方法：既存の旋盤加工技術をさらに長尺物へ応用させるため活用する



導入した旋盤加工設備によって
3,000ミリ以上の長尺シャフトにも対応



振れを0.03ミリ以下に抑える
加工技術

この企業の 「強み」

鳥取県内には長尺旋盤加工が可能な企業様は弊社を含め数社と極めて少なく、今回導入の長尺用旋盤を駆使して、長尺シャフト加工における「振れ」を極小に抑えた高精度旋盤加工が可能となっている。

また、加工には高度な技術を要するが20代、30代の新しい技術者が当社専門技術を継承し、継続性のある企業力を持っている。

事業概要とその成果

○概要

既存の旋盤加工技術をさらに長尺物へ応用する為、長尺物対応の旋盤を導入し、本旋盤導入前に加工が不可能であった長尺物への技術応用に成功した。

○具体的な内容

①本旋盤導入の目的であった長さ2700ミリ以上の長尺物を切削加工熱変形による「振れ」を0.03以下に抑える加工に成功

②本設備を導入し加工技術の応用に成功した結果、既存の取引先であるメーカーより高付加価値の加工品を受注することに成功

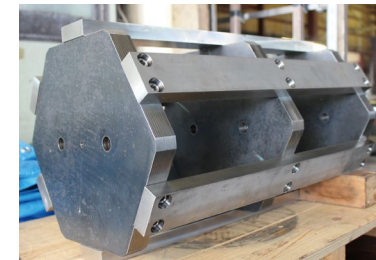
③本補助事業の成果により既存の加工品と比較して、1時間当たりの加工単価120%に上昇



手作業で振れを調整する工程



小型から大型シャフトまで対応する
高精度の専門技術



オーダーメイド加工の受注にも対応

Interview

この人に聞きました！

インタビュー

代表取締役 吉川 保 さん

今後の可能性と展望は？

当社は、鳥取県内でも数少ない長尺物旋削加工を行っており、長年培ってきた加工技術に加えて長尺物対応旋盤を導入したことにより、小型から大型まで加工対応できる付加価値機能を持つことができました。ご注文いただいた製品を図面通りに納品するのは当たり前ですが、更なるお客様の納期、加工精度、価格、外観などの要望に応えることが出来るよう柔軟な対応力と高い技術水準を保てるように努力しております。

取引先を広域拡大することは、流通コスト、納期等により難しい面もあるため近郊の取引先へ当社の専門技術等を前面に打ち出し、「センバン加工はアイケー産業」と言っていただけの企業を目指しています。

金属切削加工業／各種旋盤加工、ポンプシャフト、特殊丸鋼

有限会社 アイケー・産業システム

〒683-0013 鳥取県米子市諏訪1705-1 Tel.0859-26-1543

